

「児童が主体となる授業」について考える

【小学校】初任者研修に係る校外研修「授業参観」 令和6年6月27日 【日田教育事務所】

◆**要旨**◆ 初任者研修「授業参観(小学校)」(管内小学校初任者、教育事務所)

○目的

令和6年度初任者研修の対象者に対し、授業参観及び授業づくりに係る研究協議を通して、実践的指導力の向上に資する。

○授業参観及び協議の視点

「児童が主体となる授業について」

授業の概要	受講者の学び(「アンケート」より)	
<p>◆算数科 小学校第2学年 ◆単元名 「数のしくみを調べよう 100より大きい数」<全11時間></p> <p>◆本時のねらい <第10時> 「繰り上がり、繰り下がりのある何十 どうしの加法・減法について、10のま とまりに着目しながら図や式で考える ことを通して、計算の仕方を説明でき るようにする。」(思考・判断・表現)</p> <p>【めあて】なん十どうしのけいさんのし 方をせつめいしよう。</p> <p>【問題】80円の牛にゆうと50円のクッ キーを買います。あわせて何円になり ますか。</p> <p>【課題】150-80をどんな考え方でけ いさんするとかんたんにできるかな。</p> <p>【まとめ】なん十どうしのけいさんは 10のいくつぶんできるとかんたん にけいさんできる。</p> <p>【振り返り】10のまとまりでかんがえ ることがたいせつだとわかった。</p>	<h3><子どもの主体性を大切に></h3> <h4>■支える</h4> <h5><理解する></h5> <ul style="list-style-type: none">・子どもが自分の考えをもつための時間をしっかり確保する。・ノートに書いた「自分の考え」は消さずに残しておくよう指導すること。子どもが困ったときに見返して活用できるようにする。・子どもの考えを多く取り上げ、板書などに示して共有する。 <h5><待つ・丁寧すぎない></h5> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちの説明を繋ぎ、教師がすべて説明しない。	<h4>■観察する・イメージする</h4> <ul style="list-style-type: none">■自己肯定感が高まる言葉かけ ⇒「一生懸命書けているね」 「書こうとしていて素敵」■思考を進める、深める言葉かけ ⇒「答え方は他にもあるよ」 「その続きは？」 「自分の考えを友だちに伝えてごらん」
	<h3><子どもの主体的な姿></h3> <ul style="list-style-type: none">・子どもが主体的に学習に取り組む姿として、粘り強く課題に取り組む姿が授業参観の中で見えた。自分の考えを表現しようとする子どもたちの姿が印象的だった。・子どもたちに「発言者」という自覚が見えた。周りの人たちに理解してもらうための意識がしっかり持っていたと感じた。・自分の考えを伝えるときは、相手に伝わるまで、何度か繰り返して説明をしていた。また、同じ意見であっても、改めて説明しようとする姿があった。	

